学校番号	T0207

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	東京書籍「倫理」（倫理 701）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○授業では、教科書・プリントを使って学習します。
○資料の読み取りや考察などを行なうことがあります。主体的に説明したり、論述したり、意見交換したりする姿勢が重要です。

2　学習の到達目標

①≪「知識及び技能」に関わる目標≫　古今東西の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
②≪「思考力，判断力，表現力等」に関わる目標≫　自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や，現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話したりする力を養う。
③≪「学びに向かう力，人間性等」に関わる目標≫　人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人類のこれまでの知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。またさまざまな資料から、人間としての在り方や生き方に関する情報を調べてまとめあげる技能を身に付けるようにする。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己について深く思索する力や、倫理的諸課題を解決するために必要な概念や理論などを活用できるようになる。さらに論理的に思考し、思索を深め、説明や対話ができる力を養う。	人としての在り方や生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養う。また多面的・多角的な考察や深い思索を通して現代社会に生きる人間としての在り方や生き方についての自覚を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1編　第1章　人間の心のあり方	1節　人間とは何か 1. 人間の特質 2.　青年期の課題 2節　人間の心の働き 1. 認知 2. 感情と個性 3. 発達	a:個性，感情，認知，発達などに着目して，豊かな自己形成に向けて，他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解している。 b:自己の生き方を見つめ直し，自らの体験や悩みを振り返り，他者，集団や社会，生命や自然などとの関わりにも着目して自己の課題を捉え，その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 c:人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	考査	考査 レポート	振り返り シート 提出物
	第2章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	1節　哲学すること 1. 人間と哲学 2節　ギリシャの思想 1. 哲学の誕生と自然哲学 2. ソクラテスとソフィスト 3. プラトン 4. アリストテレス 5. ヘレニズム・ローマ時代の思想 3節　宗教と社会 1. 集団的な現象としての宗教 4節　キリスト教 1.『旧約聖書』の倫理 2. イエスの教え 3. キリスト教の展開 5節　イスラーム 1. ムハンマドとイスラームの教え 2. イスラームの展開 6節　仏教 1. 古代インドの思想 2. ブッダの思想 3. 仏教の展開 7節　中国の思想 1. 講師と儒家の思想 2. 儒教の展開	a:・幸福，愛，徳などに着目して，人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解している。その際，人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解している。 ・真理，存在などに着目して，世界と人間の在り方について思索するための手掛かりとなる様々な世界観について理解している。 ・古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けている。 b:古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして，より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し，表現している。 c:人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	考査	考査 レポート	振り返り シート 提出物

		3. 老荘思想 8節　美術 1. 美の発見と芸術の創造･鑑賞 2. 芸術と社会				
後期	第3章　社会･さまざまな人生観･倫理観･世界観Ⅱ	1節　近代と人間尊重の精神尊厳 2節　近代思想の展開 1. 新しい学問の方法 2. 経験論と合理論の対話 3. 社会契約説 3節　人格の尊厳いと倫理の思想 2. カント―人格の尊厳 3. ヘーゲル―人倫の思想 4節　社会変革の思想 1. 功利主義と幸福 2. 社会主義思想 3. 社会の進歩と実証的思想 5節　理性への疑念 1. 世界をとらえる知の在り方の変容 6節　近代的人間の見直し 1. 存在への問い 2. 新たな知の枠組み 3. 現代思想の展開 7節　他者･自然とのかかわり 1. 他者と言語 2. 民主社会の成熟のために 3. 社会参加と奉仕 4. 自然と人間とのかかわり	a:・幸福，愛，徳などに着目して，人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解している。その際，人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解している。 ・善，正義，義務などに着目して，社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観について理解している。 ・真理，存在などに着目して，世界と人間の在り方について思索するための手掛かりとなる様々な世界観について理解している。 ・古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けている。 b:古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして，より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し，表現している。 c:人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	考査	考査 レポート	振り返り シート 提出物
	第4章　国際社会に生きる日本人としての自覚	1節　日本人の精神風土 1. 日本人の自然観 2. 日本人の宗教観 3. 日本人の倫理観 2節　仏教と日本人の思想形成 1. 仏教の受容 2. 仏教の日本的展開教 3. 仏教と日本文化 3節　儒教と日本人の思想形成 1. 儒教の受容 2. 儒教の日本的展開 4節　国学の思想	a:古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して，我が国の風土や伝統，外来思想の受容などを基に，国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観，自然観，宗教観などの特質について，自己との関わりにおいて理解している。 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に関する原典や原典の口語訳などの諸資料から，日本人と	考査	考査 レポート	振り返り シート 提出物

		1. 国学の形成と展開 5節　民衆の思想 1. 民衆思想の広がり 2. 幕末の思想 6節　西洋思想と日本人の近代化 1. 近代化と啓蒙思想 2. キリスト教の受容 3. 社会思想の展開 4. 近代的な自己の追求 5. 近代日本の創造的な思想 7節　国際社会に生きる日本人の自覚 1. 戦後思想の動向 2. グローバル化と日本人	としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けている。 b:古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして，国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し，表現している。 c:人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。			
	第2編　現代の諸課題と倫理	1節　生命 2節　自然 3節　科学技術 4節　福祉 5節　文化と宗教 6節　戦争と平和	a:・インフォームド・コンセントやSOL，安楽死・尊厳死など生命倫理に関する用語や概念を理解している。 ・代理出産や臓器移植，ゲノム編集などの生命倫理の問題の賛否の考えを適切にまとめている。 ・ケアの倫理やダイバーシティ＆インクルージョンなどの考え方について理解している。	考査	考査 レポート	振り返り シート 提出物
			・文化相対主義やオリエンタリズム，宗教多元主義など，文化や宗教をめぐる用語や概念を理解している。 ・世界の紛争やテロが発生する背景や原因について理解している。 ・福祉の課題、グローバル化、世界の平和や紛争・テロに関する統計資料について適切に読み取っている。 b:・環境問題解決に向けた取り組みについて理解している。 ・ピーター=シンガーやレオポルド，ハンス=ヨナスなどの思想家の主張を理解している。 ・福祉，文化と宗教，平和などについて倫理的課題を見いだし，その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し，公正に判断して構想し，自分の考えを説明，論述している。 c:・プライバシーの権利や情報リテラシー，人工知能など科学技術をめぐる	考査	考査 レポート	振り返り シート 提出物

			用語や概念について理解している。 ・インターネットによる人権侵害に関する人権侵害など科学技術をめぐる社会問題に関する統計資料について適切に読み取っている。 ・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度